

A. 日時 2016年9月26日(月)17時00分~19時15分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 佐久間哲哉(主査),池上雅之,井上勝夫,大嶋拓也,岡野利行,川井敬二,坂本慎一,杉江 聡,
田中 学,田端 淳,中澤真司,羽入敏樹,岩本 毅(幹事),平光厚雄(幹事)

欠席者 稲留康一,古賀貴士,佐藤 洋,佐藤史明,濱田幸雄(敬称略)

D. 提出資料

2016年度第2回音環境運営委員会議事次第

No.2-0 2016年度第1回音環境運営委員会議事録(案)

No.2-1 2016年度第2回環境工学本委員会資料

No.2-2 AIJES 免責事項記載案

No.2-3 図書館デジタルアーカイブ Web 公開

No.2-4 学校 AIJES 改定アンケート結果

No.2-5 室内音響シンポジウム

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項:1. 論文集委員会→論文集委員会委員
- ・修正事項:2.(16) が,) →削除
- ・修正事項:2.(18) 織→いる
- ・修正事項:5.④ メンバー追加の→削除
- ・修正事項:5.⑧ 公害検索システム「検温検索」のメンテについて,引き続き作業を行っている. →削除

2. 環境工学本委員会の報告 (資料2-1)

(1)直営出版物の発行部数,過去の販売等部数:音関連については「AIJES 学校施設の音環境保全規準・設計指針」349部残,「AIJES 都市・建築空間における音声伝送性能評価規準・同解説」759部残.

(2)2016年度シンポジウム実施結果:第75回音シンポジウム「保育のための音環境—音から考える保育空間の質と環境整備指針—」については2016/7/28開催で127名の参加者があった.

(3)2016年度大会:環境工学の発表件数は1376件で過去最大級.前年度比で124件増加した.

(4)2017年度委員会活動計画・予算原案の提出について:10/21(金)に事務局提出のため本運営委員会では,10/17(月)までにサーバーに保存していただきたい.提出ファイルは学会サーバーを確認のこと.

(5)2017年度開始特別研究委員会設置提案:音関連はなし.

(6)2017年度開始[若手奨励]特別研究委員会設置提案募集:音関連で提案は今のところないが,あれば連絡をお願いする.締切は10/20(木).

(7)竹中育英会建築研究助成金交付者:音関連は1件.

(8)2016年度「鹿島学術振興財団研究助成」募集:建築学会の推薦を希望する場合は,10/14(金)までに学会

事務局に提出のこと。

(9)2017年度大会準備日程：4/4（火）電子投稿の締切。4/18（火）プログラム編成会議。8/31（木）～9/3（日）大会（広島工業大学）

(10)論文集の国際化に関する動向と、新英文誌検討TFの設置について：「グローバル時代を生きぬくことができる」建築人の育成特別委員会」中間答申書より、現行学術誌（黄表紙、技術報告集、JAABE）の取るべき姿の提案があった。また、新英文誌検討TFを設置し、新たな英文誌に関する検討を開始した。

(11)2017年度教育賞の推薦：事前にメール審議にて藤本先生を推薦することを承認済。

(12)卒業論文等顕彰事業委員会委員：川井先生が引き続き委員として参画。

(13)第30回環境工学連合講演会運営委員の推薦：永田先生（首都大学東京）に依頼中。

(14)AIJ デジタルライブラリーにおける2016年度大会研究集会資料の会員限定無償公開について：基本的には1年後公開であるが、「建築物の振動に関する居住性能評価指針」の改定にむけては、既に完売しておりすぐに公開してもよいのではないかという意見があり、公開することとなった。

(15)2017年度大会OS、細分類細々分類：OSは、「音環境数値解析における形状モデリングおよび境界条件の取り扱い」、細分類細々分類についてもメール審議にて承認済。

(16)2017年度大会：環境工学部門の研究協議会（案）として「安心・安全なエコスクールの構築」が提案されている。

(17)2017年度「技術部門設計競技事業」：環境設計運営委員会から提案予定

(18)環境工学本委員会 年間予算の配分案について：基本部門75%，研究部門25%をそれぞれ80%，20%に変更する。

(19)AIJES「建築物の現場における磁気シールド性能測定方法規準・同解説」について査読承認された。

(20)第76回音シンポジウム：「音響数値シミュレーションのプロセス：解析ケースの構築から結果の読み方まで」は11/8（火）開催

(21)学校施設の音環境保全規準・設計指針改定準備WG：2016/10～2018/3までの1年半の予定。方針を定めてから小委員会に変更する。

(22)環境工学研究者名簿は廃刊となった。

3. 審議事項

(1)大会「若手優秀発表」：原案通り4名で承認。

・点数配分については次回から◎10点、○6点、△3点に変更することとなった。次年度幹事団に申し送りする。

・本賞は重賞を認めていないので過去10年分程度は他の運営委員会分も含めて表彰者を確認しておく必要がある。事務局に年齢条件と過去の受賞の一括チェックを可能か確認する。

・採点のときに幹事団でチェックするようにしたい。

(2)2017年度大賞の推薦候補：安岡先生を再度推薦する方向で調整する。昨年、地球環境本委員会から安岡先生を推薦したい旨の話があった。環境工学本委員会で承認されれば、関東支部に応援依頼する。

(3)第77回音シンポジウム：「スピーチプライバシーと建築計画 ～音声情報漏洩防止の観点から～」については開催日未定のため承認は、後日メール審議にて実施する。

4. 各小委員会・WGの活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・予測手法と床衝撃音レベルの対応について継続して実施中。次回は 9/28 予定。
- ・鉄道固体音測定法検討 WG では引き続き鉄道固体音データを収集中。

(2) 集合住宅の遮音性能水準検討小委員会（メール報告）

- ・前回は 7/29 に実施，次回は 10/4 予定。
- ・鉄道騒音の評価方法に関連して長時間の鉄道騒音録音データを収集中。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・前回は 7/29，9/23 に実施。次回は 11/4 予定。
- ・pu センサの実験結果について討議，シンポジウムの開催内容の確認を実施。
- ・10/4 に音響エネルギー密度に関する実験を小林理研にて実施。
- ・遮音性能の単一評価指標について討議。

(4) 室内音響小委員会

- ・シンポジウムに関する打合せを実施。
- ・WG では騒音問題の報道事例などについて調査中。

(5) 音響数値解析小委員会

- ・前回は 6/23 に実施。次回は 10/5 予定。シンポジウム 11/8 開催。
- ・増田氏をゲストスピーカーとして招聘しディスカッションを実施した。また，シンポジウム内容についてメール審議を実施した。

(6) 音環境規準検討小委員会

- ・前回は 8/5 に開催。
- ・学校施設の音環境保全規準・設計指針改定準備 WG の設置申請。改定にかかわるアンケートを実施した。
- ・複合建物の方向性に関する検討を開始した。
- ・考え方の内容を音響学会誌に投稿。

(7) 企画・広報 WG

- ・前回は 6/14，7/20 に実施。次回は 10/3 予定。
- ・企画刊行物の評価結果に基づき必要な書籍候補を挙げ資料をまとめたので，次回提案する
- ・第 60 回音シンポジウムで実施した法規制，企画，規準についての見直しを今後の活動方針として検討中。

(8) 集合住宅騒音防止住まい方マニュアル刊行小委員会

暫定原稿を作成し，弁護士の大森先生にチェックを受け，住まい方を規定するような表現を避けて内容を一部修正。本日締切で修正原稿を提出してもらい，技報堂と内容を詰めていく予定。

5. 他学会・研究会の予定

(1) 日本音響学会・建築音響研究会

- ・10/21 京都大桂キャンパス， 11/28 明治大駿河台キャンパス 12/16 東大生研

(2) 日本音響学会・騒音振動研究会

・10/4 早稲田大学

6. その他

日本建築学会の選挙が近づいているが、代議員については各所属・機関より立候補を奨励していただきたい。

次回以降予定 11/22 (火), 2/23 (木)